

Rotary



大分南ロータリークラブ

国報

Sep 9 2022
Vol.46 No.9



例会日：毎週金曜日 12:30~13:30

例会場：大分市府内町トキハ会館4F

友好クラブ：RI第3490地区 基隆東南扶輪社 提唱インターアクトクラブ：福德学院高等学校

姉妹クラブ：RI第3860地区 セブポートセンターロータリークラブ

TEL 097-532-0611

URL : <http://www.oita-minami-rc.jp>

FAX 097-532-8386

E-mail : oitaminamirc@mist.ocn.ne.jp

2022-2023年度

国際ロータリーテーマ

RI会長 ジェニファー・ジョーンズ

RI第2720地区スローガン

ガバナー 堀川貴史

イマジン ロータリー

ロータリーはつながりであふれている ～友情いっぱい仲間と

なにかよいことをしましょう～

大分南ロータリークラブスローガン

会長 古本太

幹事 三股正幸

ロータリーを知り、仲間と共に明日を想像しよう

本日のプログラム

開会宣言 (点鐘)	12:30
ロータリーソング	「我らの生業」
会長の時間	会長
出席報告	出席委員長
幹事報告	幹事
ロータリー情報、IT 広報	担当委員長
委員会報告	
ニコボックス	親睦委員長

今週のお祝い

創立記念	吉武 俊一 会員 (株) エイビス	平成9年9月9日
	平石 淳一 会員 第一生命保険(株)	明治35年9月15日

パートナー誕生日

平石 淳一 会員 佳世子様 9月7日

閉会の辞 (点鐘)

13:30

***** 本日の例会 *****

第2039回 2022年9月9日(金) 12:30～

ゲスト 中村 恭子氏

(特定非営利活動法人BEPPU PROJECT代表)

「デザインを活用しよう！県内の事例から」

***** 今後のプログラム *****

第2040回 2022年9月16日(金) 12:30～

山崎 紀道 会員の卓話

第2041回 2022年9月30日(金) 18:30～

夜の例会「酒食 回」

第2042回 2022年10月14日(金) 12:30～

全員協議会「創立45周年について」

※10月7日(金)休会

出席報告 2022年9月22日(金)

会員数	出席者数	出席率
30名	23名	76.67%

バナーの由来。山は、たたなわる霊山の山並み、静謐な環境の学園の杜。川は、清澄大分川、生新発刺たるベッドタウンの未来図。藤は、聖域西寒多神社の藤棚で、室町時代より御神酒をつくって奉納していた、由緒ある契りのシンボルです。

第2039回の例会

会長の時間

会長 古本 太

私の名前は古本太と言います。古本は大分県なら豊後高田市に多い姓で一般的にはフルモトと呼ぶことが多いようです。佐賀県には古本は2系統4軒しかないのどこからか流れてきたのだろうと考えています。太は太いと書きます。名前がシンプルなのが自慢です。母方の祖父が大本太十という名前です。太いに数字の十と書きます。父がその一文字をいただいて太と名付けてくれました。たぶん祖父の事を尊敬していたのだろうと考えています。漁師をしていて寡黙な人でしたが酒を飲むとよくしゃべっていました。名前をもらった事が原因だと思うのですが祖父の事が大好きでした。石枕を作るのが趣味で河原に行き大きな石を拾ってきて石みのとサンドペーパーで磨いて枕の形にしていくのをそばでよく見ていました。今でもうちには2つ石枕があります。そうやって寄っていくので祖父もかわいがってくれました。かわいがってくれるのでよく遊びに行っていました。よく行くので実家のおじさんもかわいがってくれていました。イカ釣りやフグ釣りにも釣れ行ってもらっていました。親しくなるには自分のほうから近づいていくのが良いのだろうと考えています。

ちなみに現在名前を変えると通帳や免許や書類など手続きが複雑でなかなか変えませんが、江戸時代は大体4回くらい変えたそうです。まず子供のころの幼名、それから元服したときの本名、家督を継いだら家に伝わる名前、隠居したら隠居名と変えていったそうです。

明治5年に名前は一つにする法律ができてからその習慣はなくなったのですが猛反発があったそうです。今では少年サッカー大会の表彰状を渡すとき名前を確認しないとイケないくらいキラキラネームが多くなって読めない名前が増えました。

祖父は晩年膠原病を患って入退院を繰り返していましたが、祖母が病院で家内が長男を身ごもったと報告した翌日なくなりました。長男が生まれ変わりだとよく言われています。

子供の名前は佐賀県に姓名判断で有名なところがありましてそこで名前を付けていただきました。

た。長男は貴裕、次男は雅裕と言います。最初は自分でつけようとしたのですが、見てもらったらよくない名前だといわれ付けてもらう事にしました。子供が小学生の時、お風呂に連れて行き名前を呼んでいたら男の人が近づいて来て、お子さんの名前は姓名判断の人につけてもらいましたか？と聞いてきたので、はいそうです。と答えたところその人の子供も貴裕、「裕」と同じ所でつけてもらっていました。使いまわしてるのだと思いました。名前は付けた人の思いがこもっています。今後も名前に恥じないように行動していきたいと思っています。

幹事報告 <9月2日>

1. 基本的教育と識字率向上月間 リソースのご案内が届いておりますので回覧いたします。
2. 2022 - 23年度 青少年交換生徒募集・案内について回覧いたします。推薦が御座いましたら、会長・幹事にご連絡下さい。
3. RLI パート I 開催のご案内につきまして詳細プログラムが届きましたので回覧いたします。奮ってご参加をお願いいたします。
*当クラブでの修了者は、中島拓・津田修二・秦野真郎会員の3名です。
4. 2022 - 23年度 世界ポリオデー募金活動のご案内が届いております。回覧いたします。
5. 膳所和彦ガバナーエレクトより2023 - 24年度の地区委員推薦のお願いが届いております。地区各委員会の役割を一緒に付けております。ご希望の方は会長・幹事にご連絡下さい。

理事会議事録（令和4年9月）

<出席者> 古本、三股、阿南、長尾、衛藤、坂元、内林

<ZOOM> 三宮

<欠席者> 秦野・伊東・首藤・岩川

報告事項

- ・奉仕プロジェクト 岩川 義枝
- 地区補助金プロジェクト

・(11/6(日) 車いすバスケットボール交流会)

協議事項

1) 例会日程の変更については下記で承認

【変更案】

- 10/7(金) 定款に伴う休会
- 10/14(金) 記念例会準備のための全員協議会
(別途理事会)
- 10/21(金) 職場訪問例会
- 10/28(金) 45周年記念例会
- 3/10(金) 通常例会

2) 10月プログラム承認

- 10/14(金) 記念例会準備のための全員協議会
(別途理事会)
- 10/21(金) 職場訪問例会 九州電力大分支店
- 10/28(金) 45周年記念例会

3) 45周年の全体予算案、記念例会のプログラムについて現段階においては承認
全体プログラムについては、通訳がはいると少し時間が変更になると思われる

4) 45周年記念事業については再検討

5) 10/23(日) の熊本市内でのポリオ根絶募金活動(地区依頼) については当日 23日の参加はできないので、10/28(金) の創立例会においてポリオ募金の寄付をお願いする事で承認

6) 10月 8日(土) ~ 9日(日) RLIパート 1出席について今回の出席者は任意

次回開催確認 10月 14日(金)

午前 11時 30分 ~ トキハ会館 4階

ニコボックス < 9月 2日分 >

坂元 宏行 会員 (ニコ5口)

コロナ、治りました。

阿南 勝啓 会員 (ニコ1口)

「なごり雪の会」の田中陽一会長が取り組まれている音楽をテーマにした素敵な街おこしについて本日楽しみにしています。

倉園 晴義 会員 (ニコ1口)

ゲストの林様のトヨタカローラ大分様のイベントで子どもがお菓子をいただきました。有難うございます。

古本 太 会員 (ニコ5口)

体調不良だった皆さん、復活おめでとうございます。

卓 話

「伊勢正三ミュージアム海風音楽庵 UMIKAZEONGAKUAN」について ~あの頃の自分と語り合える場所~



(臼杵ロータリークラブ所属)

一般社団法人なごり雪の会

代表理事 田中陽一

2017年9月17日、津久見市は大きな水害に遭いました。その年の12月19日、三ヶ月間不通だった日豊本線が開通する前日に津久見駅で伊勢正三さんと榎の実少年少女合唱団のミニコンサートが開催され、市民は勇気づけられました。

2020年になって伊勢さんより「自分の身の回りのもので市民やファンの皆様のお役に立てるのなら使って欲しい」とギター・楽譜・家具・釣り道具など一万点以上にもなる所蔵品が事務局長(幼なじみ)のもとに送られてきました。そして忘れもしない10月15日、これらのいきさつなど何も知らない私に「今は空き家になっているお前の母ちゃんが住んでいた家を資料館として貸してほしい」と幼なじみに頼まれたのがきっかけで「伊勢正三ミュージアム海風音楽庵 UMIKAZEONGAKUAN」を開館する事になりました。

オープンに際し伊勢さんからは「この来た人みんなが幸せになってほしい」「僕の過去を展示

するだけじゃなくて、ここを起点に何か新しいことにチャレンジして欲しい」というメッセージを預かりました。「神様みたいなこと言うのうー」「難しい宿題じゃ」と思ったのですが…蓋を開けてみると、市内・県内はもとより全国各地から多くの熟年カップルがご来館。みなさんそれぞれに「あの頃の自分」と語り合っているように見受けられます。そして老いを受け入れながら「次のステップ」へと進んでいかれるような気がします。仲睦まじい後ろ姿を拝見するとこっちが「幸せな気持ち」になります。

「年代を超えて多くの方々に正やんの作品を歌い継いで欲しい」のが私どもの目的です。こどもや孫の世代にどうつなげていくか。長く続けるにはどうしたらいいのか。課題は山積みですが、乗り越えていきたいと思っています。

かぐや姫でデビューして50年、今まで支えていただいたファンへのお礼と（津久見には無い）カッコよさを求めた展示を是非ご覧いただければと思います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

「海風音楽庵」～あの頃の自分と語り合える場所～

また、長く続けるご支援をいただければ幸いです。

